

情報公開文書

研究課題名	軽症脳梗塞における血栓溶解療法の治療効果の異質性の解明
研究期間	実施許可日 ～ 西暦2028年 3月 31日 (症例対象期間：西暦1999年1月1日 ～ 西暦2023年12月31日)
研究の目的と意義	<p>本研究は、日本脳卒中データバンクに登録された脳梗塞患者さんの診療情報をもとに、軽症脳梗塞に対する静注血栓溶解療法の治療効果を詳しく解析するものです。これまでの研究では、全体集団の平均をみた際の治療の大きくなく、優越性はないと報告されています。しかしながら、患者さんの症状や特性によっては、治療が益になることも害になることもあり、このばらつきを治療効果の異質性といいます。</p> <p>本研究では、人工知能・機械学習を用いた解析手法を活用し、患者さんごとの特徴に応じて血栓溶解療法の治療効果がどのように異なるかを調べます。これにより、将来的に「どのような患者さんに血栓溶解療法が最も有効か」をより正確に判断できるようにし、安全で効果的な個別化された治療選択の実現を目指します。</p>
研究方法	当施設も参加している日本脳卒中データバンク事業に登録されたデータを利用します。1999年1月1日から2023年12月31日までの期間に、脳卒中の診断で入院加療となった患者さんが対象です。対象となる患者さんの入院年・年齢・性別・発症前生活自立度・既往症・来院時神経学的所見・来院時意識状態・血液検査所見・脳卒中病型の情報を利用いたします。研究の方法などに疑問点などがある場合には、下記連絡先までご連絡ください。研究の独創性、個人情報、知的財産の保護に支障のない範囲において資料の公表をいたします。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	<p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。</p>
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません。(公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです)。
問合せ先	<p>京都第二赤十字病院 脳神経外科 藤原 岳</p> <p>〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5</p> <p>TEL：075-231-5171 (代) FAX：075-256-3451 (代)</p>